

実証運行案件の概要について

1. 実証運行案件のデュアルモードシステム

DMV

2. 申請者

熊本県、大津町、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町、南阿蘇鉄道（株）

3. 当該デュアルモード導入の目的及び効果

背景・目的

- 新幹線開業に合わせた地域交通アクセスの強化の必要性
- 地域の生活交通の維持活性化の必要性

新幹線くまもと創りプロジェクトの推進

線路と道路を一体とした
観光ルートの確立

地域交通網の再編

南阿蘇鉄道の収支改善

期待される効果 (短期的)

- ・ 南阿蘇地域における観光活性化・地域活性化
- ・ 南阿蘇鉄道の経営安定化（地方鉄道の維持・活性化）

他地域への発展 (中・長期的)

- ・ 鉄道とバスの融合による地域交通活性化モデルの確立
- ・ 低密度利用路線における持続可能な鉄道経営モデルの確立

4. 実証運行実施計画

(1) 実施地域

熊本県阿蘇郡高森町及び南阿蘇村

(2) 実施区間

鉄道区間：南阿蘇鉄道高森線 高森駅～中松駅

道路区間：国道 325 号線、主要地方道熊本高森線、主要地方道矢部阿蘇公園線、
県道 149 号線等

(3) 運行計画

実施時期：平成 20 年 1 月予定（3 日間程度）

運行本数：1 日 3 便

5. 実証運行実施体制

(1) 実証運行に向けた関係機関との調整状況

- ・ 地元自治体、九州運輸局、熊本県公安委員会、交通事業者、観光協会等により構成される「熊本県 DMV 導入実証実験協議会」を設置している。

(2) 実施体制

- ・ 「熊本県 DMV 導入実証実験協議会」が主体となり実施する。

(以上)